

議 長 声 明

(1998年4月4日 ロンドンにおいて)

序論

1. 第2回アジア欧州会合(ASEM2)は、1998年4月3日から4日までロンドンにおいて開催された。この会合には、欧州連合理事会議長を務めるグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国首相の議長の下、アジアから10ヶ国及び欧州から15ヶ国の首脳並びに欧州委員会委員長が出席した。首脳には、外相、欧州委員会委員及びその他の閣僚が随行した。

2. 首脳は、1998年にロンドン及び2000年にソウルで会合することによりその成功を更に進展させることを決意した1996年3月1日から2日までバンコクで開催された第1回首脳会合(ASEM1)を想起した。首脳は、アジアと欧州との関係を強化するため第1回会合以降なされた進展を満足の意をもって点検した。首脳は、相互依存の深まった世界において、政治、経済、文化及びその他の分野での協力における欧州とアジアとの間のパートナーシップを強化するに当たり、ASEMの役割を再確認した。

3. 初回バンコク首脳会合の結論に依拠しつつ、意見の一致をみた「アジア欧州協力の枠組み」文言とも一貫性を図り、首脳は、ASEMプロセスについて次のとおり確認した。

- 対等のパートナーシップ、相互の尊重及び相互の利益を基礎として行われる。
- 開放的かつ漸進的なプロセスであること。拡大は、首脳のコンセンサスに基づいて進められる。

－対話のプロセスを通じて相互の理解と認識を深めるとともに、協調的支援行動のための優先事項の特定に関する協力につながる。

－政治対話の促進、経済面での協力の一層の強化及びその他の分野における協力の推進という三つの主要分野を同じ弾みをもって前進させる。

－非公式なプロセスとして、ASEMは、機構化される必要はない。ASEMは、他のフォーラムにおける進展を活性化及び円滑化し、両地域のビジネス・民間セクター間及び同様に重要な両地域の人々の間の対話と協力を促進するため、政府の枠組みを越えるものである。ASEMは、また、両地域のシンクタンク及び研究グループの協力的な活動を奨励するものである。

以上を念頭に置いて、首脳は、また、外相会合、経済閣僚会合及び蔵相会合における討議を歓迎した。

両地域の情勢

4. 首脳は、アジアにおける金融・経済情勢の改善に高い重要性を置くとともに、この世界的な懸案に取り組むため共同していくとの決意を再確認した。この目的のため、この問題に関する考え方及び具体的なイニシアティブを含む「アジア金融・経済情勢に関する声明」を別途発出した。

5. 首脳は、欧州経済通貨統合（EMU）の達成に向けてなされた進展及び欧州連合の拡大プロセスの開始について討議した。首脳は、これが内向きの姿勢につながるものではないとの欧州連合の堅い意思に留意した。首脳は、ユーロの成功裡の導入が欧州及び世界の他の地域の双方の成長及び安定に寄与するものであることを期待した。

6. 首脳は、ASEM諸国の経済及び経済政策の相互依存関係が増進しているこ

とを認識するとともに、アジアと欧州との間の対話と協力を深めることの重要性につき意見の一致をみた。この関連で、首脳は、ユーロの導入によりもたらされた機会及び課題を含めマクロ経済及び金融の問題について蔵相及び蔵相代理の間の対話が強化されたことを歓迎した。さらに、首脳は、ビジネス界がユーロの導入に向け十分準備するように支援するため協力することにつき意見の一致をみた。

7. 首脳は、ASEANが、1997年に、2つの新メンバーの加盟をもって東南アジアのすべての国を包含するという目標（ASEAN10）の達成に向け更に近づいたことにより、創立30周年を祝したことに留意した。首脳は、ASEANがすべての域外対話国の協力を得ながら地域的な平和と安定、成長及び社会的進歩を高めるに当たり、積極的な役割を果たしていることを歓迎した。

8. 首脳は、「ASEANビジョン2020」の採択を含む1997年12月にクアラルンプールで開催された非公式ASEANサミットの結果に留意した。首脳はまた、地域内のより緊密な対話と協力に貢献したASEANの首脳と中国、日本及び韓国の首脳との非公式会合の結果に留意した。

政治対話の促進

9. 首脳は、1997年2月のシンガポールでの第1回ASEM外相会合及びそれに続く高級実務者会合が、共通の関心を有する地域的及び国際的問題を議論するための有益な機会であり、1996年にバンコクで首脳により定められ、バンコク議長声明の第5、第6及び第7パラグラフに反映された諸原則に基づいた包括的な政治対話が、理解と友好の向上に貢献してきたことに留意した。

—首脳は、一般的な安全保障問題に関するアジア欧州の対話の拡大に賛意をもつ

で留意した。ASEAN地域フォーラムは、地域的な安全保障問題の討議における同フォーラム自体の重要な役割を作り上げた。首脳は、信頼醸成措置に関して既に達成された実質的な作業を歓迎した。首脳は、7月にマニラで開催されるASEAN拡大外相会合に期待する。

—首脳は、グローバルな政治問題を探求する決意を確認した。首脳は、とりわけ国連事務総長の包括的改革案（トラック2）に見られるように、効果的な国連機構改革を推進するための作業が進展していることを歓迎するとともに、国際の平和と安全及び持続可能な開発を維持及び促進する上で国連が果たしている卓越した役割を一層強化するために、引き続き協力して改革を促進していくとの決意を新たにした。首脳は、化学兵器禁止条約の発効及び包括的核実験禁止条約の署名開放を含む軍備管理、軍縮及び不拡散の分野における最近の積極的な進展に留意した。首脳は、軍備管理、軍縮及び大量破壊兵器の不拡散に関する世界的なイニシアティブを強化することの重要性、並びにASEMがこれらの分野において協力を深化させるとの決意を強調した。首脳は、生物・毒素兵器禁止条約を強化するための措置に関する交渉、合意された権限に基づく核分裂性物質のカット・オフに関する軍縮会議における交渉の早期開始、並びに包括的核実験禁止条約の早期発効及び同条約に規定された目標に向けての進展を支持することを再確認した。

—首脳は、より安全で安定した国際環境を探求するとの決意を確認した。地域的な問題が世界的な影響を持ちうるようにますます相互依存を深めている世界において、国際社会のメンバーは、これらの問題に共同して取り組むことが求められている。この立場から、首脳は、カンボディア、朝鮮半島、ボスニア及びコソボの情勢、EU拡大等の共通の関心を有する地域的及び国際的問題について討議した。首脳は、いかなる形態の人種差別や排外主義にも反対する旨表明するととも

